

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成25年11月15日

都道府県知事  
(市長)

殿



提出者 大分県日田市求町731番地  
有限会社 佐藤農場  
住所 代表 佐藤 一郎  
氏名 (〒877-0021) TEL (0973) ②5768  
FAX (0973) ②5769  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(有) 佐藤農場
事業場の所在地	日田市求町 731番地
計画期間	平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	農業
②事業の規模	豚 1700 (母猪150、雄豚10、その他1540)
③従業員数	2人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ふん尿. 自ら堆肥化 尿を分別し、排水処理施設で処理 動物の死体 処理業者へ処理委託

(日本工業規格

A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表 (責任者)

↓  
従業員 (管理)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 ( 24 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	豚のふん尿	動物の死体
	排出量	2380 t	2 t
	(これまでに実施した取組) オガコ豚舎		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	豚のふん	動物の死体
	排出量	2380 t	2 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ふん尿から尿を分離し、排水処理施設で処理
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ふん尿から尿を分離し、排水処理施設で処理

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 ( 24 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 ( 24 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	尿のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1470 t	t
	(これまでに実施した取組) 尿を分離し、排水処理施設で処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	尿のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1470 t	t
	(今後実施する予定の取組) 尿を分離し、排水処理施設で処理		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 24 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	2 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			